The Fukuoka Dental Times

Vol.13 | 2019.1

新・連載
税理士から見た歯科医院経営！

歯科医院の設備投資と借入について①

はじめまして！
税理士法人アップパートナーズ代表の 菅 拓摩 と申します。福岡を中心に、歯科医院様を 270 件ほど関与させて頂いております。この度、主に経営、税務について寄稿させていただくことになりました。
どうぞよろしくお願いいたします。

弊社関与先で、業績好調の歯科医院は設備投資に「超」積極的です。
開院 2 年目に 1,500 万円投資（ユニット、レントゲンなど）した医院もあります。
もちろん銀行等からの借入を全く怖がりません。
企業経営全般に言えることですが、自己資本がない場合は、他人資本（要するに借入）を活用することで、自分を大きく見せることができます。
その大きな姿にスタッフや患者さんが集まってきます。　　（続く）

税理士法人アップパートナーズ
www.upp.or.jp
〔福　岡　本　部〕 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-6-1 九勧筑紫通ビル 9F　TEL:092-403-5544
〔佐　賀オフィス〕 佐賀県伊万里市二里町大里乙 1766-4　TEL:0955-23-6712
〔長　崎オフィス〕 長崎県長崎市曙町 4 番 9 号　TEL:095-861-2054
〔佐世保オフィス〕 長崎県佐世保市白南風町 1-13 JR 九州佐世保ビル 2F　TEL:0956-76-8189

FDH Infomation

第 8 回 FDH 開業勉強会
～思いえがく理想の実現～

日　　時：2019 年 3 月 20 日（水曜日）
　　2019 年 3 月 28 日（木曜日）
　　2019 年 4 月　4 日（木曜日）
開　　演：19:00~20:30
会　　場：福岡デンタル販売 (株) 各拠点
参 加 費：無　料
定　　員：各会場 5 名

2019 年（平成 31 年 亥年）

イベント出来事開店開業トレンドカレンダー
クイントデンタルゲート 学会スケジュールより抜粋

1/1　元旦　平成最後の年
1/17「変なホテル福岡 博多」が開業予定
1/24 福岡歯科大学 同窓会
1/31 福岡市早良区「イオン原ショッピングセンター」が閉店

2/1　福岡タワーがリニューアルオープン予定
2/24 第 43 回北九州歯学研究会 発表会（JR 九州ホール）

3/21 大濠公園の「福岡市美術館」がリニューアルオープン予定
3/12 ドイツ ケルンにて国際デンタルショー IDS が開幕

4 月　新元号が発表予定
4/1　福岡空港が民営化予定
4/30 天皇陛下が退位され「退位礼正殿の儀」が行われ平成が終了する

5 月　皇太子殿下が天皇陛下へ即位され新しい元号の年が始まる
5/19 W.D.C 10 周年記念講演会（JR 九州ホール）
5/25 九州デンタルショー 開催（マリンメッセ福岡）
5/31 博多駅東の「ハイアットリージェンシー福岡」が契約満了で閉館予定

6 月　G20 財務相・中央銀行総裁会議が福岡市で開催予定
6/7　サッカー女子ワールドカップ 2019 フランス大会 開幕

7 月　参議院議員通常選挙（半数改選）が実施予定
7/19 第 38 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会（パピヨン 24）

8 月　大分県別府市に「ANA インターコンチネンタル別府リゾート＆スパ」が開業予定
8/31 第 8 回日本包括歯科臨床学会・学術大会（神戸国際会議場）

9/20 第 49 回日本口腔インプラント学会 学術大会（福岡国際会議場）
9/20 ラグビーワールドカップ 2019 が日本で開幕

10 月 消費税 10% へ改定開始予定
10/25 第 62 回秋季日本歯周病学会 学術大会

11/7 第 151 回秋季日本歯科保存学会 学術大会（福岡国際会議場）

12/26 全国で部分日食が観測される

FDH シリーズ
「としおとこ…」 己亥 つちのと・い

本社営業部 課長代理
梶 原　健 一

生年月日
昭和 58 年 8 月 22 日（35 歳）

今年の抱負
雲外蒼天（ｳﾝｶﾞ ｲｿｳﾃﾝ）
　努力して困難な事を克服すれば快い風景が望める事

今年の目標
父と米作り（梶原家のコメ）

新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。
最新の情報をホームページ、Facebook にて
アップロードしています。ぜひご覧ください。

www.fdental.co.jp　facebook

発行元：福岡デンタル販売株式会社　マーケティング部
〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津 4-7-5 KN センタービル　TEL:092-629-1491

The Fukuoka Dental Times
Vol.13|2019.1

労働人口減少…日本の『働き方改革』

キャッシュレス元年

内閣府 Cabinet Office, Government of Japan　経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry

2019 年は消費増税が予定される中、政府はクレジット決済に代表されるキャッシュレス決済におけるポイント還元など様々な施策が打ち出されている。
しかしながら、2015 年における我が国のキャッシュレス決済比率は 18.4% と他の先進国に比べ大きく遅れを取っている。

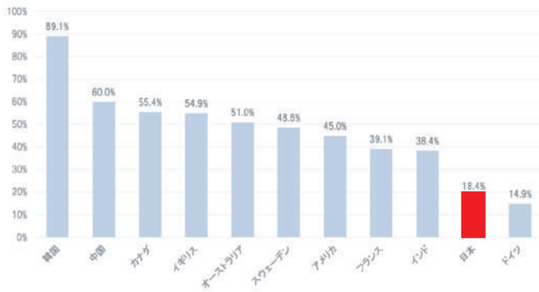
その要因としては。。。

1. 環境の問題
日本では、『治安の良さ』から盗難や偽札への警戒が低い事さらに街中には ATM が多いなど『利便性が良く』現金が比較的入手しやすく、キャッシュレスが選ばれにくい。

2. 店舗側の問題
多くの国民が現金を所有しており、使用機器導入の費用負担や手数料や現金化までのタイムラグが発生するキャッシュレス決済を導入に踏み切れない。

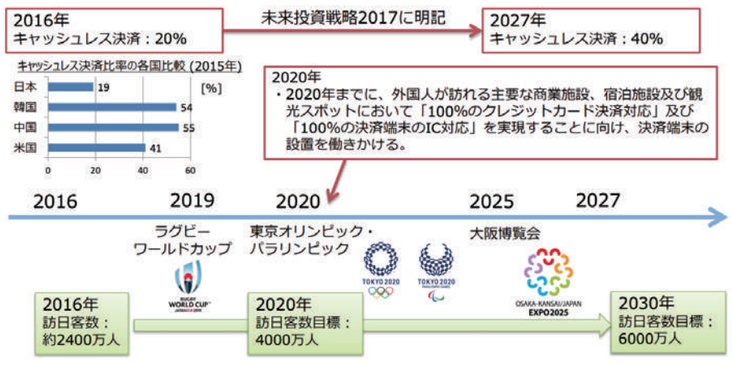
3. 消費者側の問題
キャッシュレス対応店舗の少なさ、個人情報などの不透明さなどの不安から利用者が増えない。

図表 4　各国のキャッシュレス決済比率の状況（2015 年）



（出典）世界銀行「Household final consumption expenditure(2015 年)」及び BIS「Redbook Statistics(2015 年)」の非現金手段による年間決済金額から算出
※中国に関しては Better Than Cash Alliance のレポートより参考値として記載

2018 年に経済産業省が策定・公表した「キャッシュレス・ビジョン」では、今年開催予定のラグビー W 杯、2020 年東京オリンピック・パラリンピック、2025 年大阪万博を控えた我が国における、訪日外国人対策、事業者の生産性向上・コスト削減及び消費者の利便性・安全性向上が明記され、いよいよ日本の「支払い改革」がスタートする。
政府は 2027 年までに 40%、将来的には世界最高水準の 80% まで引き上げることを目標としている。



キャッシュレス決済
20%
↗80%

〔経済産業省 キャッシュレスビジョン平成 30 年より〕

キャッシュレス決済のメリット

消費者
- 現金を持たずに買い物が可能
- ネット取引で不可欠
- カード紛失・盗難時の被害リスクが低い
- 消費履歴情報の管理が容易
- 自動家計簿サービス等の利便性が向上
- 一部ポイント等の付与

事業者
- 従業員による売上現金紛失・盗難等のトラブル減少
- 従業員が紙幣 / 通貨に触れないので衛生的
- 現金の搬出入回数の減少
- インバウンドへの対応
- 個人購買情報を蓄積し、ビックデータ分析することにより、マーケティングを高度化

公共的観点
- 脱税の減少
- マネーロンダリングの抑制

キャッシュレス決済は、消費者に利便性をもたらすほか、事業者の生産性向上にもつながり、経済の全体にも大きなメリットがあると考えられます。

医療機関におけるキャッシュレス決済として、2010 年に総務省が働きかけたのをきっかけに、クレジットカード決済に対応する病院が増えてきている。近年では、JR 東日本系の病院である JR 東京総合病院ではクレジットカード払いに加えて Suica などの交通系電子マネー、医療法人岡仁会 大分共立病院では、入院費の支払いに多くの交通系電子マネーに加え iD、nanaco、QuicPay、楽天 Edy など多くの電子マネーが利用できるようになっており、医療機関にもキャッシュレス決済当たり前の時代が近づいています。

昨今では、これらキャッシュレス決済に PayPay や LINE Pay など「モバイルウォレット」という種類も増え、導入に際してはキャッシュレス決済の種類とそれらに関わる費用や手数料などをしっかりと理解し、導入していかなければならない。今回は、その現存するキャッシュレス決済に関する情報を下記のごとく纏めてみました。

	クレジットカード	電子マネー	デビットカード	モバイルウォレット
特　徴	ポストペイ〔後払い〕 後払い、与信機能	プリペイド〔前払い〕 利用金額を事前にチャージ	リアルタイムペイメント〔即時払い〕 リアルタイム取引	
主な 支払い方法	スライド式（磁気） 読み込み式（IC）	タッチ式（非接触）	スライド式（磁気） 読み込み式（IC）	カメラ読み込み式 （QR コード）
消費シェア 〔日本国内 2016 年〕	18.0%	1.7%	0.3%	-
端末代金 支払手数料	59,800 円 3.24% ～	59,800 円他 2.90% ～	59,800 円 3%～7%	無　料 〔2021 年以降 3.45%〕
加盟店への 支払いサイクル		月 2 回など		即日、翌日、 月 2 回など様々
利用者への ポイント付与		0.5%~5.0%		

PayPay や LINE Pay などのモバイルウォレットが利用者への決済の手軽さとポイント獲得メリット、そして加盟店への即日決済など勢力を拡大してきている、歯科医療においても (株)ADI.G がクラウド型のレセコンと LINE システムを連動させるなどの動きを加速させている。今後の歯科医療における決済方法も今年は大きく変わってくると考えています。

掲載内容につきましては、詳しくは弊社営業までお問い合わせください。